

平成26年9月18日発行

八葉山 天台寺 だより 第1号

天台寺本堂保存修理工事現況報告

たくさんの皆様方のご支援をいただき、おかげさまで重要文化財・天台寺本堂の保存修理工事が進められております。つきましては、現在の工事進捗状況を写真にてご報告いたします。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



工事着工前の本堂



現在は覆屋が掛かっている



工事に際して片付けられた本堂内部



普段は丈六仏像の後ろで隠れていた厨子



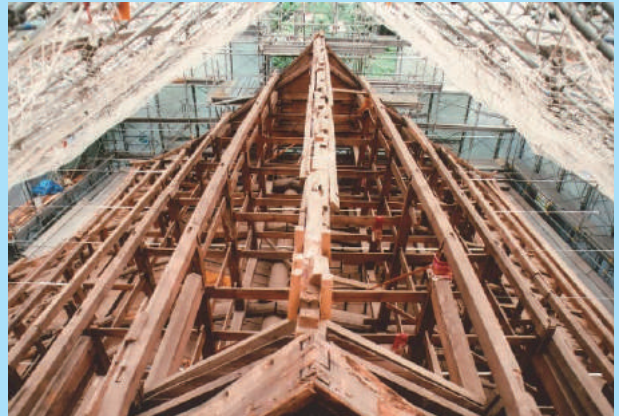
西側面の彫刻（けぎよ 懸魚・かえるまた 蟄股）



解体は全て手作業



本堂屋根の解体過程。8月末現在、右下の状態に



過去に屋根は何度も修理を受けている

真上から見た、屋根骨組みの様子



屋根骨組みには古い材料が多く残っていた

傷んでいない部材は修復後にも用いられる

<写真提供>公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

天台寺保存修理事業へのご寄進を随時受け付けておりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

<寄進方法>

郵便振替(ゆうちょ銀行)口座 02230-1-106184 天台寺本堂等修復事業推進委員会
〒028-6942 岩手県二戸市浄法寺町御山久保33 八葉山 天台寺(TEL・FAX:0195-38-2500)

(題字「天台寺」は、南北朝時代・正平18年(1363)に奉納された銅鑼口の銘で、現存資料中寺名が記された最も古いものです。)